

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜県立東濃特別支援学校		
実 施 期 間	平成26年10月29日(水)～11月8日(土)		
実 施 概 要	<p>窯まつりの公開</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校の教育の特徴でもある、小・中・高等部の一貫した粘土教育の成果の発表の場であり、本校の一大行事でもある「窯まつり」とそれに向けた児童生徒の一連の活動(火入れ式を含む)の公開 陶芸実技コーナー、茶道部のお茶会コーナー等の場面における、保護者や地域の方々、協力していただくボランティアの方との交流の実践 本校の教育活動と障がい児に対する啓発活動としての、作業製品の販売等とおした作業学習等の活動の公開 		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	約400人	計 約600人
	地域関係者	約200人	
実 施 状 況	<p>①火入れ式</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマソングに合わせて、児童生徒でダンスを踊った。 火の神より学年代表の児童生徒が火を分けてもらい、その火をそれぞれが作ったレンガ窯に点火した。 <p>②窯まつり</p> <ul style="list-style-type: none"> 火入れ式に火を入れたレンガ窯からの窯出しを行い、それぞれの作品を取り出して記念撮影を行った。窯出しの際には、保護者にも協力をしていただき、灰を取り除いた。 中学部、高等部の作業製品バザーを行い、保護者をはじめとして、地域の方々や卒業生等、多数の来校者に製品を購入していただいた。中学部のバザーには、土岐津中学校の保護者がボランティアとして参加し、販売等の手伝いをしていただいた。 児童生徒の作品や、交流校の作品を展示する作品展示を行い、本校における粘土教育や作業学習の様子等を紹介した。 陶芸体験を実施し、本校職員やボランティアの多治見工業高等学校の生徒が講師となり、来校者に陶芸実技を体験していただいた。 小学部の児童は、窯出しの後に、ポップコーン作り等の学年毎の活動やスタンプラリーなどを行った。 午後は、高等部によるマスゲーム(フラッグ・一輪車・ドリル等)の演技を全校児童生徒や参加者に披露した。 		
成 果 及 び 課 題	<ul style="list-style-type: none"> 最近では児童生徒数が200人前後で推移しているため、300人近くいた頃と比較すると、やや人の出が少なく感じるが、以前のようにごった返すことがなくなり、落ち着いてゆったり過ごせるようになっている。 中学部、高等部の作業製品の販売や、小学部のポップコーン作り等の学年毎の活動やスタンプラリーといった午前の活動、午後からの高等部のマスゲームの発表場面等で、児童生徒が生き生きとした表情で活動する姿を保護者や地域の方々に見ていただくことができた。 		

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">• ボランティアの方々の参加も定着し、多くの協力を得て活動が成功し、また多くの場面で児童生徒とボランティアの方々の交流が行われた。• 作品展示や作業製品の販売など、本校の教育活動を外部の方々に知っていただく貴重な機会である。• 卒業生やその家族も数多く来校し、旧友や学校職員との交流を楽しみにしており、卒業生の交流の場としても重要であるとともに、卒業生の現状を知るといった意味で、進路支援の側面からも重要である。 |
|--|--|